プログラミング初級(Python)

モジュールとパッケージ

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター

プログラムの部品化と利活用

プログラマの美徳については、ほとんどの方がご存知だろう。ぐうたら、せっかち、思い上がりである。

一 ラリー・ウォール

プログラムの部品化

・再利用性が向上:

モジュール化することで、特定の機能や機能のグループを別々のモジュールに分割できる。これにより、同じ機能を他のプログラムで再利用することが容易になる。他のプロジェクトや同じプロジェクト内の別の部分で同じモジュールを使用できる。

・メンテナンスの容易性が向上は

プログラムをモジュールに分割すると、変更や修正が必要な場合、関連するモジュールだけを修正すればよくなる。これにより、コード全体の理解が容易になり、メンテナンスが効率的に行える。

・可読性が向上:

モジュールを使用すると、コードの読みやすさが向上する。プログラム全体が一つのファイルに収まるよりも、小さなモジュールに分割された方が理解しやすくなる。各モジュールは特定の機能や役割を果たし、単一の責務を持つようになる。

・ グループ開発の容易性が向上:

プログラムがモジュール化されている場合、異なる開発者やチームが同時に異なるモジュールに取り組むことができる。各モジュールが独立しており、相互に影響を与えずに開発が進められるため、大規模なプロジェクトやグループ開発が容易になる。

・テストの容易性が向上:

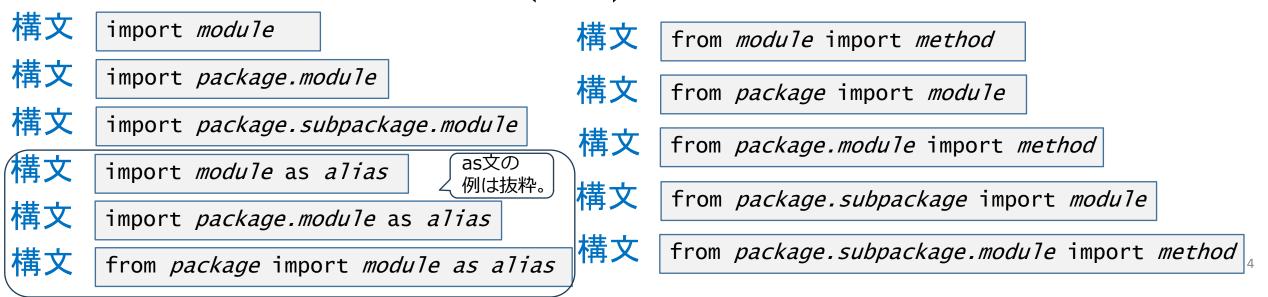
モジュールは単体でテストすることが可能。各モジュールの機能が独立しているため、テストケースを設計し やすく、バグを見つけやすくなる。

・名前空間整理の容易性が向上は

モジュールを使用すると、変数や関数などの名前空間が整理される。モジュール内で定義された名前は、その モジュール内でのみ有効であり、他のモジュールとの名前の競合を避けることができる。

モジュールとパッケージ

- ・プログラムを部品として見たとき、それをモジュールと呼ぶ。
- ・基本的には、Pythonプログラムを単一の**ファイル**として保存すると、 それがモジュールとして利用可能になる。
- ・あるPythonプログラムからモジュールを読み込むにはimport文を書く。
- ・モジュールをまとめた**ディレクトリ**のことを**パッケージ**と呼ぶ。
- ・from文の記述によって他のPythonプログラムの値や関数を利用可能。
- ・全ての構文にas文で、alias(別名)を利用可能。記述量を削減できる。



モジュールの作成とインポートの方法:import文のみの利用

```
author = "Pythonista"
def triangle(symbol, num):
    """moduling a triangle with given symbol. """
    for i in range(num):
        for j in range((num - i) - 1):
            print(end=" ")
        for j in range((i + 1)):
            print(symbol, end=" ")
        print()
```

```
import module
print(module.author)
module.triangle('*', 5)
```

module.py

main.py

「カレントディレクトリは**ホームディレクトリ**。



> dir Desktop — OneDrive連携している場合は`dir OneDrive¥デスクトップ`。 保存場所をデスクトップ以外にしている場合はこの限りではない。

2023/11/16 18:41

2023/11/16 18:42

(略)

86 main.py

284 module.py

カレントディレクトリは**ホームディレクトリ**。



% **ls Desktop** < 保存場所をデスクトップ以外にしている場合はこの限りではない。

module.py

main.py

作業のポイント

- これらのファイルを同じディレクトリに置く。
- これらのファイルが同じディレクトリにある ことをOSのコマンドで確認。

モジュールを利用したPythonプログラムを実行



__pycache__ (Pythonキャッシュ)は、Pythonのバイトコード (.pyc) ファイルがキャッシュされるディレクトリ。バイトコードはソースコードとバイナリコード間の中間表現に相当する。Pythonのコードは通常、ソースコード (.pyファイル)からバイトコードに変換されて実行される。バイトコードは、ソースコードよりも効率的に実行することができる形式。

Pythonは、コードの再コンパイルを避けるためにバイトコードを生成し、生成されたバイトコードは__pycache__ディレクトリに保存される。これにより、同じソースコードが再度実行される際に、バイトコードが再生成されるのを防ぐことができ、実行速度が向上する。

例えば、module.pyという名前のPythonプログラムを実行した場合、そのバイトコードは__pycache__ディレクトリに保存される。実際には、__pycache__ディレクトリ内にはmodule.cpython-<version>.pycといった形式のファイ、ルが作成される。



パッケージにあるモジュールを利用する例(準備)



```
:> mkdir Desktop\u00e4package
> dir Desktop
 (略)
2023/11/16 18:41
                                   86 main.py
2023/11/16 18:42
                                  284 module.py
2023/11/16 19:15
                                      package
                      <DIR>
2023/11/16 18:43
                                      __pycache__
                      <DIR>
 (略)
> copy Desktop\u00e4module.py Desktop\u00e4package
 1 個のファイルをコピーしました。
> dir Desktop¥package
 (略)
                                                  ✓ この後、元のmodule.pyとコピーしたmodule.py
2023/11/16 18:42
                                  284 module.py <
                                                    の区別がつくように内容を編集する。
  (略)
```

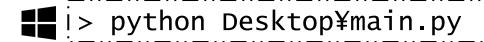


```
% mkdir Desktop/package
% ls Desktop
__pycache__ main.py module.py package
% cp Desktop/module.py Desktop/package
% ls Desktop/package この後、元のmodule.pyとコピーしたmodule.py
module.py の区別がつくように内容を編集する。
```

from文とimport文を利用したモジュールのインポート

```
from package import module
print(module.author)
module.triangle('*', 5)
```

main.py





i% python3 Desktop/main.py

実行結果の例

保存のスタイルが異なるだけで同じモジュール を実行しているので実行結果は変わらない。

疑問

- 次のようなプログラムの場合、どうなる?
- モジュールの保存場所が違うものの、モジュール名が同じ。

```
import module
from package import module

print(module.author)
module.triangle('*', 5)
```

main.py

```
author = "Pythonista"
def triangle(symbol, num):
    """moduling a triangle with given symbol. """
for i in range(num):
    for j in range((num - i) - 1):
        print(end=" ")
    for j in range((i + 1)):
        print(symbol, end=" ")
    print()
print("This is a module.") 編集部分。
```

module.py

```
author = "Pythonista"
def triangle(symbol, num):
    """moduling a triangle with given symbol. """
for i in range(num):
    for j in range((num - i) - 1):
        print(end=" ")
    for j in range((i + 1)):
        print(symbol, end=" ")
    print("This is a module from a package.") 編集部分。
```

同じモジュール名が存在する場合

```
import module
from package import module
print(module.author)
module.triangle('*', 5)
```

main.py



i> python Desktop¥main.py



i% python3 Desktop/main.py

実行結果の例

```
Pythonista
This is a module from a package.
```

後に読み込んだパッケージにあるモジュールの 命令が実行された。

```
from package import module
import module
print(module.author)
module.triangle('*', 5)
```

main.py



i> python Desktop¥main.py



i% python3 Desktop/main.py

実行結果の例

```
Pythonista
This is a module.
```

後にただのモジュールを読み込めばそれが実行 される。

同じモジュール名が存在する場合:別名の付与

解決策

• as文でユニークな別名をつければ良い。

```
import module as m1
from package import module as m2

m1.triangle('*', 5)
m2.triangle('*', 5)
```

main.py

```
* *
* * * * *
This is a module.
   * *
* * * * *
This is a module from a package.
```

他のモジュール利用法:関数のみのインポートとその別名付与

```
from module import triangle

triangle('*', 5)
```

main.py

- python Desktop¥main.py
- 1/2 python3 Desktop/main.py

実行結果の例

```
from module import triangle as t

t('*', 5)
```

main.py

- > python Desktop¥main.py
- # !% python3 Desktop/main.py

```
*

* * *

* * *

* * * *

This is a module.
```

他のモジュール利用法:サブパッケージからのインポート

package/subpackage/module.py

```
> mkdir Desktop\u00e4package\u00e4subpackage
> copy Desktop\u00e4module.py Desktop\u00e4package\u00e4subpackage
  1 個のファイルをコピーしました。
: > dir Desktop\package\subpackage
2023/11/16 18:42
                                    284 module.py
  (略)
% mkdir Desktop/package/subpakcage
% cp Desktop/module.py Desktop/package/subpakcage
% 1s Desktop/package
 __pycache__
                   subpakcage
                                      module.py
% 1s Desktop/package/subpakcage
module.py -
              編集する
auther = "Pythonista"
def triangle(symbol, num):
    """moduleing a triangle with given symbol.
    for i in range(num):
        for j in range((num - i) - 1):
            print(end=" ")
        for j in range((i + 1)):
            print(symbol, end=" ")
                                                  編集部分。
        print()
    print("This is a module from a subpackage.")
```

```
import package.subpackage.module
                     ディレクトリとファイルの区切りを`.`で表す。
   package.subpackage.module.triangle('*', 5)
                                           main.py
   from package subpackage import module
                            aliasを付けなくても記述量が減る。
   module.triangle('*', 5)
                                            main.py
   from package.subpackage.module import triangle
                          メソッドのみを読み込むことができる。
   triangle('*', 5)
                                            main.pv
  注意「from package subpackage import module.triangle as m1」
  のような記述はできない。from文とimport文を併用するときは、最後の要素だけ
  import文で指定し、それ以外はfrom文で指定する。
     > python Desktop¥main.py
    !% python3 Desktop/main.py
実行結果の例
```

This is a module from a subpackage.

モジュールの参照場所(Python標準のsysモジュールを利用)

```
1 >>> import sys
2 >>> for place in sys.path:
3 ... print(place)
4 ...
```



空行は実行したPythonプログラムがあるカレントディレクトリの意味。 上から下にPythonは指定されたモジュールを探しに行く。

C:\forallers\for

C:\forallers\for

C:\forallers\foral

C:\forallers\foral

C:\forallers\for



空行は実行したPythonプログラムがあるカレントディレクトリの意味。 上から下にPythonは指定されたモジュールを探しに行く。

/Library/Frameworks/Python.framework/Versions/3.12/lib/python312.zip /Library/Frameworks/Python.framework/Versions/3.12/lib/python3.12 /Library/Frameworks/Python.framework/Versions/3.12/lib/python3.12/lib-dynload /Library/Frameworks/Python.framework/Versions/3.12/lib/python3.12/site-packages

timeモジュール

Pythonの time モジュールは、時間に関連する機能を提供する標準モジュール。 timeモジュールは、時間の計測、スリープ、またはフォーマットされた日付や時刻の表示など、さまざまな時間操作をサポートする。

```
import time
current_time = time.localtime()
print("Current Time:", current_time)
get-time.py
```

```
実行結果の例
```

```
Current Time:
time.struct_time(tm_year=2023,
tm_mon=11, tm_mday=16, tm_hour=21,
tm_min=42, tm_sec=40, tm_wday=3,
tm_yday=320, tm_isdst=0)
```

```
import time

print("Start")

time.sleep(2)
print("End after 2 seconds")
```

sleep.py

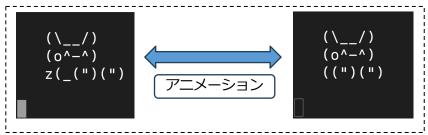
実行結果の例

Start End after 2 seconds

timeモジュールの活用例:アスキーアート(Python標準のosモジュール併用)

```
import time
   import os
   # ASCII art
   ascii_art = [
                  raw stringと呼び、Pythonの文字列を作成する際に
                  エスケープ文字を無視するための接頭辞。
       (Y /)
       (0 \wedge - \wedge)
      z(_(")(")
10
11
                  パワーポイントの入力規則の関係で¥となっているが
                  実際には「\(バックスラッシュ)」を意味している。
       (Y_{\underline{}}/)
13
       (0 \wedge - \wedge)
       ((")(")
14
16
17
   def animate(frames, delay=0.5):
        for frame in frames:
19
            os.system('cls' if os.name == 'nt' else 'clear')
20
            print(frame)
            time.sleep(delay)
22
23
   try:
        while True:
24
                                 例外処理をあえて用いて、`Ctl - C`コマンドで
            animate(ascii_art)
25
                                  プログラムが綺麗に終了するようにしている。
   except KeyboardInterrupt:
        os.system('cls' if os.name == 'nt' else 'clear')
27
```

実行結果の例



この行は、コマンドラインの画面をクリアするためのコマンド。 os.name が 'nt' ならば(Windowsの場合)、'cls' として指定されたコマンドを実行し、それ以外の場合は(Unixベースのシステムの場合)、'clear' として指定されたコマンドを実行する。その場合分けを三項演算子を用いて記述した例。

'cls': WindowsコマンドプロンプトやPowerShellで画面をクリアするためのコマンド。

'clear': Unix/Linuxのターミナルで画面をクリアするためのコマンド。

これにより、アスキーアートが表示される前にターミナルまたはコマンドプロンプトの画面をクリアして、アスキーアートが連続して表示 されるようになっている。

mathモジュール

import math

math モジュールは、数学的な操作を行うための標準モジュールで、様々な数学関数や定数をサポートする。このモジュールは、数値計算や三角関数、対数、指数関数などの数学的な操作を行うために使用される。

```
print("The value of pi is:", math.pi)

pi.py

import math

angle = math.pi / 4 # Angle of 45 degrees

sine_value = math.sin(angle)
cosine_value = math.cos(angle)

print(f"The sine of {angle} is:", sine_value)
print(f"The cosine of {angle} is:", cosine_value)
```

実行結果の例

The value of pi is: 3.141592653589793

sin-cos.py

実行結果の例

The sine of 0.7853981633974483 is: 0.7071067811865475 The cosine of 0.7853981633974483 is: 0.7071067811865476

tkinterモジュール

tkinter モジュールは、PythonでGUI_(Graphical User Interface)アプリケーションを構築するための標準モジュール。tkinter は、Tk GUIツールキットのPythonバインディングであり、クロスプラットフォームのGUIアプリケーションを開発するのに広く使用されている。

```
import tkinter as tk

root = tk.Tk()
label = tk.Label(root, text="Hello, tkinter!")
label.pack()

root.mainloop()
```

hello-tk.py

```
import tkinter as tk

def on_button_click():
    label.config(text="Button Clicked!")

root = tk.Tk()
root.title("Button test")

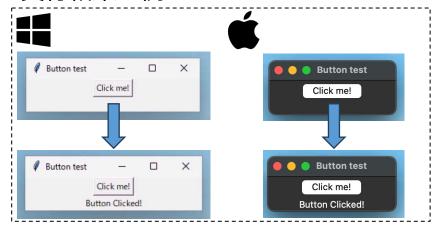
button = tk.Button(root, text="Click me!", command=on_button_click)
button.pack()

label = tk.Label(root, text="")
label.pack()

root.mainloop()
```

実行結果の例



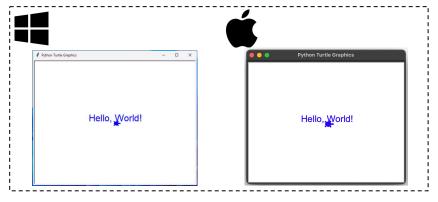


turtleモジュール

turtle モジュールは、Pythonでシンプルなグラフィックスを描画するための標準モジュール。turtle モジュールは、簡単なアート作品やグラフィカルなプログラムを学ぶために利用され、特に初学者や子供たちに人気がある。

```
import turtle
    # Window settings
    window = turtle.Screen()
    window.bgcolor("white")
    # Turtle settings
    t = turtle.Turtle()
    t.shape("turtle") # Set the shape of the pen to turtle
    t.color("blue") # Set the pen color to blue
11
12
13
14
    # Draw a string
    t.write("Hello, World!", align="center", font=("Arial", 24, "normal"))
17
    # Close the window on click
    window.exitonclick()
```

実行結果の例



hello-turtle.py

```
import turtle

def on_click(x, y):
    turtle.goto(x, y)

turtle.onscreenclick(on_click)
turtle.done()
```



click-turtle.py

標準モジュールの活用例:アナログ時計(clock.py)

```
実行結果の例
    import time
                                                                 32
    import math
                                                                 33
    import tkinter as tk
                                                                 34
                                                                 35
    WIDTH = 400
                                                                 36
    HEIGHT = 400
                                                                 37
                                                                 38
    root = tk.Tk()
                                                                 39
    root.title("Analog Clock")
    canvas = tk.Canvas(root, width=WIDTH, height=HEIGHT,
                                                                 41
    ba="white")
                                                                 42
    canvas.pack()
                                                                 43
12
                                                                 44
    def update clock():
13
                                                                 45
        canvas.delete("all")
14
        now = time.localtime()
                                  24時間表記を12時間表記に変換。
15
                                                                 47
        hour = now.tm hour % 12 1
16
                                                                 48
        minute = now.tm min
17
                             楕円を描くメソッドを利用。第1引数と第2引数
        second = now.tm sec
18
                                                                 50
                             を左上、第3引数と第4引数を右下とした四角形
                                                                 51
                             に接する楕円が描画される。今回は円ができる。
    # Draw clock face
                                                                 52
        canvas.create oval(2, 2, WIDTH, HEIGHT, outline="black",
                                                                 53
21
    width=2)
                                                                 54
                              360度(2Pi)を
22
                                             0度を12時の方向に合わ
                              12等分するので
    # Draw hour numbers
                                                                 55
                                             せるため、-90度(-Pi/2)
        for i in range(12): 人約分してPi/6。
                                                                 56
                                             して角度補正。
            angle = i * math.pi/6 - math.pi/2
                                                                 57
            x = WIDTH/2 + 0.7 * WIDTH/2 * math.cos(angle)
26
                                                                 58
            y = HEIGHT/2 + 0.7 * HEIGHT/2 * math.sin(angle)
27
            if i == 0:
               canvas.create_text(x, y, text=str(i+12), font=
29
                                                                 60
    ("Helvetica", 12), fill='black')
                                                                 61
            else:
30
                                                                 62
               canvas.create text(x, y, text=str(i),
                                                                 63
    font=("Helvetica", 12), fill='black')
```

```
# Draw minute lines
                              360度(2Pi)を60等分するので約分してPi/30。
    for i in range(60):
        angle = i * math.pi/30 - math.pi/2
        x1 = WIDTH/2 + 0.8 * WIDTH/2 * math.cos(angle)
        y1 = HEIGHT/2 + 0.8 * HEIGHT/2 * math.sin(angle)
        x2 = WIDTH/2 + 0.9 * WIDTH/2 * math.cos(angle)
        y2 = HEIGHT/2 + 0.9 * HEIGHT/2 * math.sin(angle)
        if i \% 5 == 0:
            canvas.create line(x1, y1, x2, y2, fill="black", width=3)
        else:
            canvas.create_line(x1, y1, x2, y2, fill="black", width=1)
# Draw hour hand
    hour angle = (hour + minute/60) * math.pi/6 - math.pi/2
    hour_x = WIDTH/2 + 0.5 * WIDTH/2 * math.cos(hour_angle)
    hour y = HEIGHT/2 + 0.5 * HEIGHT/2 * math.sin(hour angle)
    canvas.create_line (WIDTH/2, HEIGHT/2, hour_x, hour_y,
fill="black", width=6)
# Draw minute hand
    minute angle = (minute + second/60) * math.pi/30 - math.pi/2
    minute x = WIDTH/2 + 0.7*WIDTH/2 * math.cos(minute angle)
    minute y= HEIGHT/2 + 0.7* HEIGHT/2 * math.sin(minute angle)
    canvas.create_line (WIDTH/2, HEIGHT/2, minute_x, minute_y,
fill="black", width=4)
                                  360度(2Pi)を60等分するので約分してPi/30。
# Draw second hand
    second angle = second * math.pi/30 - math.pi/2
    second x = WIDTH/2 + 0.6 * WIDTH/2 * math.cos(second angle)
    second y = HEIGHT/2 + 0.6 * HEIGHT/2 * math.sin(second angle)
    canvas.create line(WIDTH/2, HEIGHT/2, second x, second y,
fill="red", width=2)
    canvas.after(1000, update clock)
update clock()
root.mainloop()
```

まとめ

- ・プログラムは部品化することで、**再利用性、メンテナンスの容易性、可 読性、グループ開発の容易性、テストの容易性、名前空間整理の容易性** が向上する。
- ・部品として見たプログラムのことを**モジュール**と呼ぶ。
- ・モジュールの実体は、Pythonプログラムの**ファイル**である。
- ・モジュールをまとめて入れた**ディレクトリ**のことを**パッケージ**と呼ぶ。
- ・あるPythonプログラムからモジュールを読み込むにはimport文を書く。
- from文をimport文と併用することで、命令の記述量を減らすことや、 メソッドの読み込みができるようになる。
- ・モジュールやメソッドを読み込む際にas文でalias(別名)を付与することにより、それ以降はaliasを用いて命令を記述することができる。
- ・Pythonの標準モジュールとして、sysモジュール、timeモジュール、osモジュール、mathモジュール、tkinterモジュール、turtleモジュールを紹介。他にもあるので適宜調べること。「次回る生 は数量とでき」